

第3回 山口県海岸保全基本計画変更に係る技術検討会 議事要旨

日 時 : 令和7年2月19日(水) 14時~15時25分

場 所 : 山口県庁本館棟 11階 収用委員会室

出席者 : 三浦委員長、朝位委員、柴田委員、篠崎委員

議事内容 : 気候変動を踏まえた計画外力の検討結果について

【主な意見】

- 南海トラフ巨大地震発生時には、瀬戸内側では長時間揺れることが予想されており、液状化により堤防や護岸が沈下し、施設の機能が低下する可能性があるため、気候変動を踏まえた設計高潮位が設計津波水位(L1津波)より高い傾向にあるからといって、最大クラスの津波(L2津波)に対して安全であるといった認識をもたれないように留意する必要がある。
- 必要天端高の算定結果を公表するのであれば、資料から誤った認識をもたれないように表現や記載内容には十分留意すること。

【本日議論していただきたい内容】

- ① 気候変動を踏まえた潮位偏差の設定に向けた検討結果
 - ・北沿岸についても、潮位偏差の将来変化倍率の平均値である1.07倍を潮位偏差に考慮して、気候変動を踏まえた設計高潮位を設定することで了承を得た。
- ② 気候変動を踏まえた波浪の設定に向けた検討結果
 - ・北沿岸についても、将来予測の不確実性を踏まえて、確率波高計算処理システムから算出した30年確率波を採用する方針で了承を得た。
- ③ 気候変動を踏まえた設計津波水位(L1津波水位)と設計高潮位の比較結果
 - ・気候変動を踏まえた設計津波水位(L1津波水位)と設計高潮位の比較結果を確認いただき、了承を得た。
- ④ 気候変動を踏まえた計画外力【確定値】
 - ・気候変動を踏まえた計画外力の算定結果について、了承を得た。
- ⑤ 必要天端高の算定結果について
 - ・代表海岸における必要天端高の算定結果について報告を行い、気候変動の影響が県内全域へ及ぶことが確認された。
- ⑥ 今後について
 - ・来年度設置予定の海岸保全基本計画検討委員会にて、気候変動の影響を考慮した防護施策の検討を行い、海岸保全基本計画へ反映させる方針について了承を得た。